第二十一回　北海道 小 中 高生短歌コンテスト 二次審査通過作品一覧（通過249首中、入選以上を除く161首

小学1～3年生の部

1	すなはまでふたりでつくるおもうとそらをみあげる大きなおしろ	札幌市立栄西小学校	2年	いずみののか
2	朝早く公園に行く楽しみは体そう後 あとのシール交かん	札幌市立屯田西小学校	3年	佐伯 星南
3	まるでにじうちあげ花火きれいだなみんなで見たよなつのおもいで	札幌市立二条小学校	3年	なかみちじろう
4	友だちといっしょに遊んだ雪だるまどうか明日も会えますように	札幌市立平岸高台小学校	3年	泉 大地
5	夏休み夜空を見上げ見つけたよきらきら光る北斗七星	苫小牧市立拓勇小学校	2年	戸﨑 春仁
6	どろあそびみんなでつくったどろだんごなげてよごれてふくまでどろどろ	富良野市立鳥沼小学校	1年	萩原 絆心
7	全力でみじかい命大切にジージー鳴くよ夏をもり上げ	富良野市立鳥沼小学校	3年	佐々木 駆
8	サッカーでがんばったけどまけちゃったつぎはがんばるぜったいにかつ	北海道教育大学附属札幌小学校	1年	上出 涼介
9	ともだちとせんこうはなびぱちぱちとあかやみどりのせんがたくさん	北海道教育大学附属札幌小学校	1年	小島 六華
10	あついなつカレーをたべるもしゃもしゃとぼくはぴりぴりからくちがすき	北海道教育大学附属札幌小学校	1年	宮川桜次朗
11	自転車のレースでころびどろだらけゴーンドッカンむねんの最下位	北海道教育大学附属札幌小学校	2年	宮川海太朗

小学4～6年生の部

12	秋近し緑の葉っぱは赤くなりもみじといちょう夕焼けみたい	旭川市立共栄小学校	5年	本庄 綾乃
13	夏の夜お祭りへ行くともだちとかき氷食べロが虹色	旭川市立共栄小学校	5年	松本菜々子
14	クロールでプールのかべまでついたときのわすれられないあのよろこびを	旭川市立新富小学校	4年	水澤 真帆
15	大会でヒットを打ってかつやくだママにほめられとてもうれしい	浦幌町立浦幌小学校	4年	山下 颯士
16	たのしみは寒いダジャレを言い放ち広い範囲を冬にするとき	恵庭市立松恵小学校	6年	湊 颯真
17	洞爺湖の息をわすれるカルデラ湖きりの中からきれいなすがた	小樽市立潮見台小学校	6年	大谷 裕斗
18	たのしみは修学旅行露天風呂荷造りさえも思い出づくり	小樽市立潮見台小学校	6年	奥寺 悠
19	かた並べ見上げた空に咲く花火心つながる忘れない時	小樽市立潮見台小学校	6年	櫻井 葉子
20	がんばるぞ新品のバットにぎりしめ打ってやるぞと気合が入る	音更町立柳町小学校	4年	伊藤 丈
21	しょうぎでねやっとかてたよとうさんにうれしさだけでこころいっぱい	音更町立柳町小学校	4年	小田 陽太
22	吹奏楽たくさんの客ドキドキだみんながいたからがんばれたんだ	音更町立柳町小学校	4年	宗形 匠
23	ストライクぼくらの声がひびいてくこの一球大事にしてく	札幌市立大谷地東小学校	4年	菊川 遥斗
24	ゆうやけで青から赤へそまる空友達と見るなぜかなみだ目	札幌市立大谷地東小学校	4年	木村 楓
25	親せきと浜辺でやった西瓜わり潮風が吹く海の砂浜	札幌市立大谷地東小学校	4年	立野 志依
26	夏休み夜空飛びちる花火たちいつかみたいな空の上から	札幌市立大谷地東小学校	4年	松野 夏希
27	青い池静けさ湛え立ち枯れの凛と映るは濃き夏の影	札幌市立開成小学校	6年	木村 美月
28	魚たちヒレがきらきらサファイアの水そうの中優雅にゆれる	札幌市立開成小学校	6年	熊倉 彩乃
29	夏休み宿題の山つきすすむ気分はまるで働きアリだ	札幌市立義務教育学校福移学園	4年	加納 光莉
30	聞こえるよパチパチという珠のおと負けたくないと心のさけび	札幌市立幌南小学校	5年	松村 香那
31	たのしみは家の花だんにあたらしく芽吹いた草花眺めゆく時	札幌市立栄北小学校	6年	西村りょうま
32	大そうじゆかがキラキラかがやいてうつっているよ祖母のえがおが	札幌市立札幌小学校	5年	成田 環花
33	手稲山雪をまといてそびえ立つ白き頂朝日に染まる	札幌市立手稲山口小学校	6年	富樫 逞仁
34	ばあちゃん家バーベキューだよ行ってきた肉はやわらかさい高の夏	札幌市立屯田小学校	4年	坂下 睦人
35	スタートだタイムをだすぞじゅんびしてきあいをいれてロケットスタート	札幌市立屯田小学校	4年	高橋 遥輝
36	プール行きたくさん遊んだサイコーだ友達できたいい一日だ	札幌市立屯田小学校	4年	藤澤 陸
37	水やればわらうみたいに葉がゆれるぐんぐんチマ育つと毎日うれしい	札幌市立屯田小学校	4年	古屋羽紗奈
38	紅葉が見るたび進む藻岩山ひらひら舞い散る真っ赤なもみじ	札幌市立中の島小学校	5年	神尾 泰舟
39	奥尻で何度もみがいた青と銀世界に一つ虹色サンゴ	札幌市立発寒西小学校	4年	佐藤 瑞季
40	春色の桃のにおいがつまってるやさしいジャムはママの手作り	札幌市立発寒南小学校	6年	道下 愛理
41	たのしみは流れ星降る暗い空滝野の森で空を見るとき	札幌市立東山小学校	6年	板倉 海晴
42	たのしみはフリーキックでゴーンゴールネットを動かした時	札幌市立東山小学校	6年	今尾 嘉志

43	消えないで花火と一緒に夏終わる煙の向こうは宿題の山	札幌市立円山小学校	6年	小仲　敏彦
44	勝ち上がり大事な試合出番来た打せきに入り打てずに終わる	新ひだか町立静内小学校	4年	滝川　葵生
45	大暑の日打ち上げ花火きれいだな打ち上げてくれ夏の暑さも	滝川市立滝川第三小学校	6年	松本　旭永
46	夏祭り「親が迷子」とアナウンス子どもが大人で大人が子ども	田中学園立命館慶祥小学校	5年	亀山　空翔
47	甲子園目指して走るグラウンド汗と涙がもう止まらない	苫小牧市立清水小学校	5年	奥山　瑛介
48	砂浜で見つけた貝は青色だ耳にあてたら波の音がする	苫小牧市立清水小学校	5年	木村　楼奈
49	夏終わりさみしさかんじしんみりだそして聞こえるコオロギの音	苫小牧市立清水小学校	5年	中村　悠花
50	真っ青な夏の天気をよろこぶよ早く食べてと待つ野菜たち	深川市立納内小学校	5年	山岸　美結
51	あさだよときこえてくるのがうれしくてねたふりしちゃおもう少しだけ	別海町立上西春別小学校	4年	伊東　杏奈
52	おとうととけんかをしたよどうしようなかなおりするぜったいするよ	別海町立上西春別小学校	4年	佐藤　珠愛
53	光る波魚になって飛び込んだ夏の太陽背びれに浴びて	三笠市立三笠小学校	6年	中川　琢朗
54	海の家けずりイチゴが大盛りで赤くてあまい幸せな夏	留萌市立緑丘小学校	4年	久留宮　蘭
55	夏の空はしゃぐ笑顔と水しぶき舌に広がる青いシロップ	留萌市立緑丘小学校	4年	坂本つむぎ
56	夏の海友とキャンプゆうぐれにオレンジいろにそまる夕焼け	留萌市立緑丘小学校	4年	髙橋　紗英
57	暑い夏すずしい風が気持ちいい父といっしょにサイクリング	稚内市立宗谷小学校	4年	森越　蓮斗

中学生の部

58	いつの日か笑み無き別れ君と僕また会う時は笑って会おう	旭川市立愛宕中学校	2年	佐藤　遥樹
59	夕暮れのゴートに響くドリブルは明日の自分を越える足跡	旭川市立愛宕中学校	2年	髙木　咲翔
60	寒雀挨拶交わして毛づくろい白銀の朝白い靴下	旭川市立愛宕中学校	2年	柳澤　泉美
61	中連であきらめないで最後まで大外刈りで決めきる一本	旭川市立春光台中学校	2年	井上　裕翔
62	ゆかた着て花火が上がる夜の空きれいな色にみんなでピース！	石狩市立樽川中学校	2年	飛松　優杏
63	旅支度朝の光に靴結び見知らぬ町　風を連れゆく	石狩市立樽川中学校	2年	藤田　崚雅
64	雨の日のてるてるぼうず窓ぎわに太陽みえると笑顔もみえる	岩見沢市立清園中学校	2年	木村　百花
65	何もかも忘れてしまう小説は飛びこみたいな本の世界に	岩見沢市立豊中学校	2年	松澤　優月
66	青空の田舎の夏に風がふく青いトンボが指先とまる	雨竜町立雨竜中学校	2年	林　愛笑
67	負けた日の悔しさ想い日々努力靴紐強く結び直した	帯広市立帯広第二中学校	2年	川上　北飛
68	胸を張り白紙を目の前今日もまたかき続けるよ夢に向かって	帯広市立帯広第二中学校	2年	米川　侑里
69	目が覚めてベッドの上にいる自分少し前まで日本代表	北見市立南中学校	2年	新山　青葉
70	帰り道期待するのも悪くないいつか叶えるこの片想い	北見市立留辺蘂中学校	2年	金兵　優里
71	手に汗を握り迎えたコンサート奏で終われば拍手にほっと	札幌光星中学校	1年	柿山　樹里
72	窓からね木を観察し風に乗り舞い立つ木の葉秋がまた来る	札幌光星中学校	1年	酒井　茉奈
73	川岸をぼんやりてらす夏の夜ここにいるよとホタルの合図	札幌光星中学校	1年	徳井　航
74	ジジと鳴く静けさ破るセゾゼミにふと立ち止まる灯ひ涼しのみち	札幌光星中学校	2年	伊藤ひかり
75	よもすがら夏を奏でた虫の音静まりかえる朝もまた夏	札幌光星中学校	2年	小野　琉聖
76	潮風に髪をなびかせ笑いあう友との夏を海にあずけて	札幌光星中学校	2年	鈴木ゆかり
77	慣れぬ手で母つくったお弁当届いてほしい感謝の気持ち	札幌光星中学校	2年	長沼　咲希
78	ビル風が運ぶ熱気と青い空アスファルト蹴り夏を駆け抜く	札幌光星中学校	2年	早尻＊　脩平
79	終演だ寂しさこらえ舞台袖手と手をつなぎラストシーンへ	札幌市立栄南中学校	3年	髙城　清夏
80	潮風に髪をなびかせ海を見る水平線が夜空に溶ける	札幌市立札幌中学校	2年	小幡　皐月
81	一球にすべてを賭けて立つ打席狙うは遠くスタンドの奥	札幌市立札幌中学校	2年	村田　桜翔
82	暗闇に線香花火の光飛び金魚のごとく泳いで消えた	札幌市立新川中学校	3年	美馬あやめ
83	大会でチャンスの場面打席たち打ったボールはレフトスタンド	札幌市立月寒中学校	2年	武田　光玄
84	曇り空きれいな海も台無しだいつか見れるか水天一碧	札幌市立月寒中学校	2年	宮本　仰生
85	友の背を叩いて送る試合前勝てると願うファイナルゲーム	札幌市立月寒中学校	2年	山本　花凜
86	自鳴琴響く音色はいつまでも八千夜を越えて遠く彼方へ	札幌市立屯田中央中学校	2年	岡島　朱里
87	小樽路を友と歩けば町並みに歴史の息吹そっと漂う	札幌市立屯田中央中学校	2年	白金　夏帆
88	坂の街見下ろす窓辺煌めいて友と見上げる夜空の景色	札幌市立屯田中央中学校	2年	前田　悠翔

89	しゃかしゃかと抹茶を点てる音だけが静寂　しじま　に響く西日の部室	札幌市立屯田中央中学校	2年　山下　茉子
90	時計の針心臓の音追い抜いて白紙の上を泳ぐシャーペン	札幌市立福井野中学校	2年　田中　花奈
91	懐かしの友を訪ねて会いに行くお互い思春期気まずい空気	占冠村立占冠中学校	3年　井川　紡
92	折り鶴で千羽以上に千羽鶴未来に飛ばし平和を祈る	積丹町立美国中学校	1年　伊藤　夏空
93	進んでも白い地面は果てしなくノートの上のかわいいクワガタ	壮瞥町立壮瞥中学校	2年　天野さくら
94	サーブ前静まるコート息をのみサービスエース決める一球	滝川市立明苑中学校	2年　宮本　里奈
95	雨続く紫陽花にのる蝸牛雨やんで光る綺麗な虹かな	千歳市立千歳中学校	2年　折野　遥音
96	ノー勉と毎回言うけど嘘つくな付箋だらけの教科書見えた	千歳市立千歳中学校	2年　小山　翔和
97	蛍たち闇の中より舞い上がり星に溶けゆくまでを見届く	千歳市立東千歳中学校	2年　松島　あさ
98	とうきびをほしがる犬のおおきな目愛しさゆえの「あげないからね	当別町立西当別中学校	2年　岸本　悠花
99	ステージで拍手の音に目がうるむ今年の夏よ幕を下ろすな	七飯町立七飯中学校	3年　中村　楓
100	なつかしい遊具消えさり走馬灯さびしさにじむ公園のあと	名寄市立風連中学校	2年　石井　煌己
101	夏休みおばあちゃん家で思い出のきいろいスイカ甘くておいしい	日高町立富川中学校	2年　中田　真鈴
102	張りつめたステージに咲くハーモニー夏を捧げたあの一音目	美幌町立美幌中学校	2年　白戸　希実
103	飛行機の窓から覗くミニ五アのいつもの町は見慣れぬ景色	北海道教育大学附属旭川中学校	2年　池浦　一彩
104	あなたとのアイス一口分け合えば夏の陽よりも胸は熱くて	北海道教育大学附属旭川中学校	2年　大貫　心花
105	狙ったがあてそこなった景品をしっといいつつくれたやさしさ	北海道教育大学附属旭川中学校	2年　鈴木　理樹
106	消しゴムのカスを集める授業中将来だけはまとまらなくて	北海道教育大学附属旭川中学校	2年　日塔結姫乃
107	姉送りホームに残る春風に四月は別れの季節と知った	北海道教育大学附属旭川中学校	2年　麩澤菜々子
108	夕焼けが雲を朱色に染めていく日は地に落ちて月光が射す	北海道教育大学附属旭川中学校	2年　森田　悠生
109	大木の頭に風が吹きかかりひらりひらりと緑が舞った	北海道教育大学附属札幌中学校	2年　伊丹　公優
110	図書室の誰も読まない小説にしおりを残す私の夏休み	松前町立松前中学校	3年　五十嵐凛心
111	君と行くやっと誘えた夏祭り心拍あがる打ち上げ花火	室蘭市立港北中学校	2年　菅原　来夢
112	タータンをしっかりと噛むピンの音練習の成果タイムに刻め	紋別市立紋別中学校	2年　米田　葉奈
113	君からの返信待てば一分が一時間にも感じる深夜	和寒町立和寒中学校	2年　塚崎　颯杜

＊尻の字は九でなく丸

高校生の部

114	トラックを刻むスパイク音速く限界超えてラストを上げる	旭川龍谷高等学校	1年　中本　泰我
115	ああ水だ涼を求めて近づくがなんだかげろう無駄に汗かく	旭川龍谷高等学校	2年　武田　真心
116	作物に感謝を捧ぐ十五夜のあまねく照らす天満月　あまみつつきよ	札幌光星高等学校	2年　佐々木芽瑠萌
117	喧騒を忘れてまどろむ砂浜で遙か聞こゆるカモメの声よ	札幌光星高等学校	2年　伊達　蒼介
118	「可愛い」が溢れる入り口足すくむ男五人のテーマパークで	札幌日本大学高等学校	1年　髙畠　未来
119	みずしぶき暑い夏にはちょうどいい茨戸の川をスイスイと漕ぐ	北海道石狩翔陽高等学校	2年　諏訪　友祐
120	部活後のからだにしみるカレーライス今日の疲れもちょっと好きかも	北海道石狩翔陽高等学校	2年　三森ゆめの
121	戸を開けて今日は快晴気づいたら降り始めてるきれいな風花　かざばな	北海道岩内高等学校	1年　山王丸　樹
122	窓を開け息を合わせて奏でる音夕焼け空に突き抜ける青	北海道岩内高等学校	2年　小向　玲
123	セミの声積丹ブルーと南風まだ熱残る夏の夕焼け	北海道小樽水産高等学校	1年　柏崎　琴乃
124	息合わせみんなで漕ぐぞこの艇　ふね　を進めよ前に目指せ栄光	北海道小樽水産高等学校	1年　斎野　惟人
125	笛太鼓遠く聞こえて振り返る潮風だけが頬をなでゆく	北海道小樽水産高等学校	1年　茂野　来海
126	何回も整える髪暗くても可愛くいたい7月の夜	北海道小樽水産高等学校	1年　杉立　麦苗
127	一連ひとつらに網手繰り寄せ見ゆる影鱗片照らす黎明の時	北海道小樽水産高等学校	1年　茂木　悠真
128	名前呼びお互い照れる夕焼けに言葉にできぬ想い満ちてく	北海道小樽水産高等学校	1年　山田　幸祐
129	青い海天売の島の断崖に鳥たち舞いて風がふわりと	北海道小樽水産高等学校	1年　山村　潤
130	夕陽射し影映りこむ夏嶺　なつね　には静寂　しじま　の中で葉擦れ聞こゆる	北海道小樽水産高等学校	2年　岩本　泰聖
131	夜明け前決と向かい気合い入れ今日も始まるタコとの勝負	北海道小樽水産高等学校	2年　髙石　透哉
132	帰り道君と見上げた北の空心に残るあの流れ星	北海道小樽水産高等学校	2年　花田　敬紀
133	氷詰め父の船待つ陸　おか　仕事無事にと祈る沖の白波	北海道小樽水産高等学校	2年　本間　嵩敏
134	泥を噛みもがいた日々が根を伸ばしだれも見ぬ場所咲かす大輪	北海道帯広柏葉高等学校	2年　馬場星玲奈

135	夏木陰書風めくる文庫本茉はさみて雫る天泣	北海道帯広柏葉高等学校	2年	松原　桔平
136	静けさにツルネの音が空を裂く当たれと願うまどぅこころ と	北海道釧路工業高等学校	1年	倉崎　真宗
137	森深き道場満つる蝉しぐれ離れの一矢夏を貫く	北海道釧路工業高等学校	2年	青木　絢菜
138	黒狐私を化かし連れ出すのお面の奥にあなたの瞳	北海道釧路湖陵高等学校　定時制	3年	三木田恭子
139	下駄の音鳴らすたびまた胸弾む着慣れぬ浴衣祭りの夜	北海道釧路湖陵高等学校　定時制	3年	宮田　茉里
140	一本に思いをのせて弓を引く仲間と歩んだ努力の日々	北海道札幌白石高等学校	2年	鳴野　綾花
141	間違えて止めた指先悔しくてもう一度だけ鍵盤をなぞる	北海道札幌白石高等学校	2年	高野　　唯
142	「嗚呼　当たれ」願う当落待ちの昼スマホのバイブに期待を込めて	北海道札幌白石高等学校	2年	横山　真心
143	台湾の笑顔で包む水餃子丸い形に思い出詰めて	北海道札幌月寒高等学校	2年	沼田　望愛
144	夏めく夜ぼんやり光る行灯を担いだ肩に伝わる絆	北海道札幌西高等学校	2年	黒住菜々子
145	夏祭り浴衣姿で自撮りする花火とともに弾ける笑顔	北海道札幌白陵高等学校	2年	小野寺悠衣
146	すっぴんが正しいことの特別をあと数月感じておこう	北海道札幌東商業高等学校	3年	仁木　美友
147	飽き性の君と花粉症の僕は揃って月に行くべきやないね	北海道札幌南高等学校	3年	高島　果穂
148	制服のアイロンがけのぎこちなさ母の手きの偉大さを知る	北海道清水高等学校	1年	丸山　惟月
149	波の音静かに響く夕暮れに僕の未来遠く見めぐる	北海道福島商業高等学校	1年	佐藤　波月
150	航路ゆく矢越の岩肌夏光り洞窟の青に心奪われ	北海道福島商業高等学校	2年	渡邊　美香
151	余がない瞬も潰せぬ大学生図書館で読む宮沢賢治	北海道福島商業高等学校	3年	上野桜史郎
152	海風に運ばれ来たる朝の霧いつもの山を低くしてゆく	北海道福島商業高等学校	3年	太田　心優
153	朝霧のとうもろこしをもぎとれば黄色く輝く畑の夏よ	北海道真狩高等学校	2年	佐藤　一朗
154	苗の丈友と比べて記録する青空の下今日も畑	北海道真狩高等学校	2年	重山　美優
155	汗流し鏡見るたび焼けた肌今年の夏の私の勲章	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	1年	伊藤　叶実
156	川遊び冷たい水に足つけて小さな魚追いかけていく	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	1年	高橋　央希
157	海に行き波の音だけ聞いていた青い風景が心に残る	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	2年	松尾　瞭磨
158	潮風に揺れる夜空に花火咲く小樽の夏の夜を彩る	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	伊藤　拓也
159	願うと静まる夜に流れ星思いをかける満天の空	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	今枝　そら
160	十八の夏を迎えて夢追えば少し大人の一歩踏み出す	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	アムロ誠トライトウィリ
161	イヤホンをわけあう駅のホームにてぬるぺットボトル握りしめてる	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	3年	羽賀　大登